

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	総合英語 B I	
科目基礎情報							
科目番号	2023-510			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	制御情報工学科			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	Grove English Communication I(Fill-In note, workbook含む), チャンクで英単語 Standard, 英和辞典						
担当教員	萩原 康一郎						
到達目標							
1. テキストの英文を正確に理解でき、テキストのテーマに沿った言語諸活動を行うことができる。2. 語・句・文における基本的な強勢と文のイントネーションや区切りを正しく理解して、聴き手に情報が正しく伝わる音読および発話ができる。3. 50語以上の文章で自分の考えを表現できる。4. 英単語・熟語の知識を豊かにすることができる。5. アクティブラーニングの手法を用いた活動を通じて、コミュニケーションスキル・合意形成力・発信力・チームワーク・主体性などの分野横断的能力を向上させる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1 リーディング	基本的な語彙の使い方、語法、文法を理解して、英文を正確に理解できる		基本的な語彙の使い方、語法、文法を理解して、英文をおおむね理解できる		基本的な語彙の使い方、語法、文法が理解できず、英文を理解できない		
評価項目2 スピーキング	語・句・文における基本的な強勢と文のイントネーションや区切りを正しく理解して、聴き手に情報が正しく伝わる発話が正確にできる		語・句・文における基本的な強勢と文のイントネーションや区切りを理解して、聴き手に情報が伝わる発話がおおむねできる		語・句・文における基本的な強勢と文のイントネーションや区切りを理解して、聴き手に情報が伝わる発話ができない		
評価項目3 ライティング	学習した語彙、語法、文章校正に関する知識を使って自分の考えを正確に英文にすることができる		学習した語彙、語法、文章校正に関する知識を使って自分の考えを英文にすることがおおむねできる		語彙、語法、文章校正に関する知識の理解が不十分なため、自分の考えを英文にすることができない		
学科の到達目標項目との関係							
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 4							
教育方法等							
概要	AI で培った能力を生かしてさらに複雑な内容のインプットとアウトプットができるための英語力を養成する。辞書が適切に扱え、英文構造の特徴がつかめられ、自分の考えを話したり書いたりする力を伸ばすことを目指す。						
授業の進め方・方法	音読を通して読む力を養う。語彙・文法の確認を適宜行い、練習問題や短文作文によって基礎知識の定着を図り、ハンドアウトを用いて知識の定着度合いの自己確認作業を行う。適宜ペアでの活動や作文課題を取り入れて運用と表現力を養う。副教材を活用して語彙力を高める。アクティブラーニングの手法（ペアワーク、グループワーク、ディスカッション、反転授業、ジグソー法など）を用いた活動を適宜実施する。						
注意点	・評価は評価割合に従って行う。 ・複数の教員で担当する科目であるため、学科間で進度が異なることがある。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	1st semester Review Introduction to Lesson7, Lesson 7-1		英文の概要や語彙・文法を様々な活動を通して理解できる。習得したことを復習して活用することができる。		
		2週	Vocabulary Quiz Lesson 7-2		英文の概要や語彙・文法を理解できる。習得したことを用いて意見を表現することができる。		
		3週	Lesson 7-3 Grammar Exercises		英文の概要や語彙・文法を理解できる。習得したことを用いて意見を表現することができる。		
		4週	Vocabulary Quiz Lesson 7-4, Special Activity		英文の概要や語彙・文法を様々な活動を通して理解と復習ができる。新たな知識や習得したことを適切に用いることができる。		
		5週	Introduction to Lesson8 Lesson 8-1		英文の概要や語彙・文法を様々な活動を通して理解できる。習得したことを用いて意見を表現することができる。		
		6週	Vocabulary Quiz Lesson 8-2		英文の概要や語彙・文法を理解できる。習得したことを用いて意見を表現することができる。		
		7週	Lesson 8-3 Grammar Exercises		英文の概要や語彙・文法を理解できる。習得したことを用いて意見を表現することができる。		
		8週	Lesson 8-4, Special Activity		英文の概要や語彙・文法を様々な活動を通して理解と復習ができる。新たな知識や習得したことを適切に用いることができる。		
	4thQ	9週	Lesson Review Vocabulary Quiz, Special Activity		英文の概要や語彙・文法を様々な活動を通して理解できる。新たな知識や習得したことを適切に用いることができる。		
		10週	Special Activity Grammar Exercises		英文の概要や語彙・文法を様々な活動を通して理解できる。習得したことを用いて意見を表現することができる。		
		11週	Vocabulary Quiz Introduction to Lesson9, Lesson 9-1		英文の概要や語彙・文法を様々な活動を通して理解できる。習得したことを用いて意見を表現することができる。		
		12週	Lesson 9-2 Grammar Exercises		英文の概要や語彙・文法を理解できる。習得したことを用いて意見を表現することができる。		

		13週	Vocabulary Quiz Lesson 9-3	英文の概要や語彙・文法を理解できる。習得したことを用いて意見を表現することができる。
		14週	Lesson 9-4, Special Activity	英文の概要や語彙・文法を様々な活動を通して理解と復習ができる。新たな知識や習得したことを適切に用いることができる。
		15週	Review	学修事項を振り返り、知識の定着を確認することができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			英語運用能力向上のための学習	関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

評価割合				
	試験	課題テスト点	課題活動評価点	合計
総合評価割合	60	20	20	100
基礎的能力	60	20	16	96
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	4	4